

報道の「中立」「公平」とは－ヘイトスピーチから考える
神奈川新聞・石橋記者が講演

朝日新聞労働組合では、1987年5月3日に起きた阪神支局襲撃事件を語り継ぎ、言論の自由を市民とともに考える「5・3集会」を阪神地区で続けて参りました。今年で30回目を迎えます。西部支部でも思いを共有しようと、福岡の地でも「プレ5・3集会」を続けて参りました。

今回は、神奈川新聞記者の石橋学さん、コーディネーターに九州大学法学部教授の南野森さんをお招きし、支部プレ5・3集会「報道の『中立』『公平』とは－ヘイトスピーチから考える」と題した講演会を開催いたします。石橋さんは94年に神奈川新聞社に入社後、県警、遊軍、運動部、相模原総局などを経て14年から報道部デスクとして「時代の正体」シリーズを担当。「偏っていますか、何か」との記事が大きな反響を呼びました。

事前予約制ではございますが、お時間が許されましたら、是非ともご来場ください。よろしくお願いいたします。

記

■日時：4月22日（土）14時30分開会（14時開場）

■場所：福岡朝日ビル4階BC会議室
（〒812-8511 福岡市博多区博多駅前2-1-1）

■申し込み・応募方法

FAX、電子メールで事前にお申し込みください。①郵便番号、②住所、③氏名、④年齢、⑤職業、⑥電話番号をご記入ください。

・FAX：092-415-3308

・メール：au-seibu@asahi.email.ne.jp

※4月12日必着、先着100名様

■お問い合わせ

朝日新聞労働組合西部支部

（TEL：092-414-6211、土日除く10～18時）

以上